

第34期事業報告

(平成31年4月1日より令和2年3月31日まで)

I 施設利用者の概況

当期における区民健康村施設利用者総数は延べ69,163人で、施設利用者全体としては前期比767人増え、増加率は1.1%となりました。一般利用者では、ふじやまビレッジでは前期比1,757人の増加、なかのビレッジでは1,179人の減少となり、移動教室での利用者は682人の増加となりました。

当期利用者数及び前期利用者数との比較

		前 期 (平成30年度)	当 期 (令和元年度)	比較増減
利用者数		68,396人	69,163人	767人
内 訳	一般利用者	45,313人	45,891人	578人
	移動教室	19,891人	20,573人	682人
	日帰り利用	3,192人	2,699人	△493人

II 事業の概況

1 事業の経過及び成果

(1) 施設運営維持管理事業

施設運営維持管理においては、良質なサービスを安定して提供を行うために、利用者アンケートや公募による区民の宿泊モニタリング調査を行い、具体的な提案や貴重な情報を運営方法や提供サービスの改善に活用しております。また、施設を常に快適に利用できるよう建物及び諸設備等法定点検や自主点検を行い、不具合箇所や経年劣化による老朽度合いなどを検証し、機能や能力を充分発揮できるよう適切な措置を施しながら施設の良好な状態を維持してまいりました。

ふじやまビレッジでは、露天風呂を含むせせらぎの湯が前期に供用開始されたことから、既存温泉館の浴槽防水及び配管設備改修工事の着手、なかのビレッジでも浴槽防水を主とする浴室の改修を行い充実した利用環境と、風景にとけこんだ施設づくりから幅広い利用者にご満足いただいております。また、「森のむら」及び「森の学校」では、移動教室での地域・環境学習プログラムや交流事業、さらには交流事業に参加したことをきっかけに、その知識や技術をもって活動する森林保全ボランティアグループの活動拠点施設として利用され、主に友好の森の豊かな自然環境を活用した野外活動やリンゴ農家への援農などが行われております。

経費の節減では、空調機器や照明などの電気や重油使用量をいつでも確認できるよう社内での可視化を行い、日々の工夫などを盛り込みながら消費量の削減に努めてまいりました。

区民健康村は、利用者の様々な活動を支えるための拠点施設として、充実したサービスと川場村の魅力を感じていただくための過ごし方の提案など、積極的に行いながら快適に利用できる施設づくりを進めております。

(2) 川場村運動公園施設運営維持管理事業

てんぐ山運動公園の管理運営につきましては、利用環境の充実と施設の維持に務めてまいりました。この施設はスポーツ・レクリエーション空間として、野球やサッカーを中心に区民と村民に幅広く利用され、スポーツ交流にも大きな役割を果たしております。当期は、区民2,945人、村民1,612人の合計4,557人が利用しております。この公園は、競技場はもとより園内の樹木や遊歩道なども含めて入念な整備を行っており、里山に囲まれた快適な競技場として利用者から高く評価されております。

(3) 移動教室運営事業

移動教室の運営においては、当社独自の「地域・環境学習プログラム」は当期で19年目に入り、新たなプログラムの提案などを行い多くの学校からの要望に応じております。なお、当期は村内ガイドや森を歩くナイトハイクを中心に、学校の希望に合わせたプログラムや野外体験など、57校129プログラム、延べ12,238人が利用し川場村の特色ある運営を実現しております。また、野外活動の充実では、登山道整備なども実施前や定期点検において道の整備や枯損木の撤去など、移動教室が順調に運営できるよう準備を進めてまいりました。さらに、食事提供では川場村学校給食センター調理業務での衛生管理の手法も活用し着実な食事提供を行っており、すべての児童が安心して移動教室に参加できることを目標に、通常の献立に加え食物アレルギーに対応した食事の提供も行っております。

(4) 一般賄事業

宿泊者向けの料理提供では、旬の食材を積極的に使用し季節ごとに利用者アンケート及び直接寄せられる声なども十分に踏まえた中で提供をしており、多くの利用者から好評を得ております。なお、特別料理では、川場村内や近隣市町村、県内産を中心に優良な食材を活用し、厚生労働省の「卓越した技能者（現代の名工）」として表彰された料理スタッフを中心に、「充実食」や食事処さくら川では「薪窯グリル」の導入を行い、今まで以上に質の高い和食技術の特別料理も、繰り返し利用される方々には常に献立を検討改善し好評をいただいております。また、日帰り利用者の獲得では、食事と温泉入浴のセット販売や川場村地域の様々な行事や近隣市町村向けに仕出料理も継続をしております。

田園プラザレストラン武尊では、地元産の新鮮な食材を使った特徴ある料理で好評をいただいております。地域に根ざしたレストランとしてほぼ毎月実施するお客様感謝フェアでも、多くの村民や村内各種団体等に頻繁に利用されております。なお、川場村以外での営業活動として近隣市町村向けに「学生応援プラン」を新たに行うなど、現在も継続的にご利用いただいております。また、ピザハウスの運営は8年目となり、多くの利用者から好評をいただくとともに、社内研修によって全体的な技能向上を図り、当期より製造開始された「田園プラザ川場産フレッシュチーズ」を活用した新商品の開発など品質向上に努めております。

民家レストランの運営は、村有施設の有効活用とともに、学校給食調理に従事する社員を活用し、夏目家ゆかりの糠漬けや、地域に伝わる伝統的な料理を楽しんでいただけるメニュー開発にも精力

的に取り組んでおります。

(5) 川場村学校給食調理事業

川場村学校給食調理業務では、安心安全な給食を着実に提供しております。調理スタッフは、調理業務はもちろんのこと、地域の食材を活用しながら、栄養教員と献立検討や食育教育へ積極的に参加し、特色ある給食の実施に力を発揮しております。

(6) 売店経営事業

区民健康村の付帯施設となる売店では、川場村の物産商品の魅力を紹介する重要な役割を果たしております。なお、主力商品としては農産物や加工品等、特産素材を活用した地元の良質な物産をはじめ、森林資源を活用した木工品や群馬県産の魅力商品に至るまで、広くご覧いただけるよう品揃えを行っております。また、館内でのくつろぎ空間として、喫茶ラウンジではペルーコーヒーや川場村の旬の素材であるフルーツを活用したドリンクなど、厳選した素材の活用を行っております。

更に、ふじやまビレッジ日帰り入浴では、冬季スキー客向けのPRに努める中で、せせらぎの湯の人氣が高く前期以上の利用者に恵まれており、施設の新たな魅力として浸透しつつあります。

(7) 交流事業

当期における交流事業は、学識者をはじめ職人、そして川場村の農林業家の指導者により充実した内容で実施いたしました。交流事業に多くの参加者を導く機会づくりとして、「川場村を気軽に楽しむことのできる」オプションイベントを積極的に行い、自然観察や体験プログラムなど、友好の森を中心に川場村ならではの特徴ある内容で実施しております。また、棚田オーナー制度、レンタアップルなど「時間をかけて川場村を知り多くの村民との交流を楽しむ」事業展開、さらに楽しむ交流事業から「川場村のために何かできないか」を共に考える事業として、里山自然学校「里山塾」「農業塾」を年間コースとして実施しています。里山塾では森林と草地を、農業塾では圃場をそれぞれのフィールドとして活発な事業を展開し、森林と圃場、境界となる草地の機能や役割を学びつつ、里山の環境保全につながる活動として実施しております。

里山塾では今までの養成教室を「大人の里山コース」に、体験教室は「親子里山体験コース」に名称を改め、ターゲットとする参加者層に分かり易くするための変更を行いました。また、里山環境をより深く学ぶため専門的内容に特化した「専科教室」、小学生・中学生を対象とした「こども里山自然学校」など、幅広い年齢層が参加できる自然体験・野外活動プログラムを体系的に展開しております。

農業塾では専門家及び指導農家から栽培知識と技術、そして、川場村流儀などを学べる年間コースとして開催しております。なお、農業塾では次年度の継続参加に結び付けるための取り組みとして、予定した年間コース以外でも手づくり味噌、豆腐づくり、餅つきなど川場村ならではの特別企画を実施いたしました。また、指導者との交流が塾以外にも発展し、自発的な農業活動、ふじやまビレッジのある富士山集落の活動に参加するなど地域に溶け込んだ様子がうかがえます。

(8) PR活動

当期はホームページのリニューアルを行い、今まで以上に両ビレッジの特色を分かり易く整理し、目的への到達性なども考慮した見直しを行いました。なお、世田谷区ホームページへのバナー広告を引き続き掲載し、容易に区民健康村を知る機会を提供しております。また、区民まつりや246ハーフマラソンなどへ広告掲載を行い、出店PRでは区内各地域で開催されるイベントに頻繁に出向き、当期は38会場、延べ58回にわたる出店を行い、良質な農産物の販売で喜ばれるとともに対面PRにも精力的に取り組みました。さらに、エフエム世田谷の番組でも川場村の様々な情報とあわせて積極的にPR活動を行っており、川場村や区民健康村事業を多くの区民の方々に伝えられる絶好の機会として活用しております。

2 対処すべき課題

当期における区民健康村施設利用者は前期実績を上回り、提供サービスにおいても高まる期待に応えるため、新たな商品の提案や営業面における強化も図りつつ高稼働を目指してまいりました。ふじやまビレッジでは温浴施設をはじめ充実したサービスと、なかのビレッジでは自然体験や交流事業など活動的施設として数多くの交流事業を中心としたご案内に努めてまいりました。

また、区民健康村事業は両住民同士の交流を、一部の地域に偏ることのない全村展開が求められ、やがては各地域の自発的な取り組みも生まれるよう導くとともに、それらが新たな文化として根付くためにも当社としての側面的な支援が重要となります。ふじやまビレッジのある富士山地区では、地域住民が組織する「富士山集落活性化協議会」の棚田を活用した竹灯籠7,000本の取り組みが、今期農林水産省の「ディスカバー農山漁村むらの宝」第6回の優良事例として選定されるなど、全国からも注目を集めております。これは、永きに渡る区と村の交流事業である棚田オーナー制度の発展型事業ともいえる取り組みです。

当社は、今後も施設の利用者ニーズの把握に努めた満足度の向上を目指すとともに、交流事業においても、地域社会と共に歩む企業として引き続き地域の発展に貢献するための積極的な事業展開を行ってまいります。

3 事業別業績、財産及び損益の状況

単位：千円

区 分	前 期 (平成30年度)	当 期 (令和元年度)
施設運営維持管理事業	346,103	346,709
川場村運動公園施設運営維持管理事業	8,492	8,492
森の学校運営維持管理事業	1,590	1,595
川場村学校給食調理事業	20,960	21,097
利用料収入	50,863	54,630
移動教室運営事業	3,942	4,051
移動教室給食賄事業	15,422	15,881
一般賄事業	224,344	229,575
売店経営事業	29,500	31,879
交流事業	40,085	40,214
その他の収入(手数料等)	1,056	683
売 上 高 合 計	742,362	754,811
経 常 利 益	18,682	20,453
当 期 純 利 益	9,973	13,003
1 株 当 り の 当 期 純 利 益	12,466円65銭	16,254円39銭

注：千円未満切り捨て

4 従業員の状況

令和2年3月31日現在

使用人数		平均年齢	平均勤続年数
男 性	23人	37歳	16年
女 性	7人	26歳	7年
合 計	30人	34歳	14年

注：上記には嘱託社員およびパートタイマー社員を含んでおりません。

Ⅲ. 会社の概況

1. 主要な事業内容

- 1) 世田谷区民健康村施設の維持管理及び運営事業
- 2) 川場村スポーツ・レクリエーション施設の管理運営事業
- 3) 宿泊に関する事業
- 4) 食堂及び土産品売店の設置経営
- 5) 地場農林畜産物及び同加工品の販売ならびに仲介斡旋
- 6) 旅行業ならびに旅客及び貨物自動車運行事業
- 7) 再生可能エネルギーの研究、開発、供給、販売に関する事業

2. 株式に関する事項

- 1) 株式の状況（令和2年3月31日現在）

①発行可能株式総数 1,600株

②発行済株式の総数 800株

③株主数 2名

株主名	当社への出資状況	
	持ち株数	出資比率
世田谷区	600株	75%
川場村	200株	25%

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

株式会社世田谷川場ふるさと公社

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	262,200,885	流動負債	52,444,309
現金・預金	194,264,441	買掛金	8,383,062
売掛金	1,087,494	未払金	29,155,992
賄材	7,720,372	未払法人税等	3,094,900
商品	1,692,721	賞与引当金	9,740,100
貯蔵品	1,425,938	預り金	1,338,609
未収入金	51,829,302	その他の流動負債	731,646
未収消費税	3,939,900		
仮払金	240,717		
固定資産	228,065,938	固定負債	155,025,011
有形固定資産	142,800,629	退職給付引当金	76,722,387
建物	45,475,480	リース債務	16,010,724
附属設備	5,513,412	長期借入金	62,291,900
構築物	7,920,682	負債合計	207,469,320
機械装置	39,500,538	(純資産の部)	
車両運搬具	1,496,677	株主資本	283,640,837
器具備品	14,938,923	資本金	40,000,000
一括償却資産	2,499,005	利益剰余金	243,640,837
リース資産	14,615,720	利益準備金	10,000,000
土地	10,840,192	その他利益剰余金	233,640,837
無形固定資産	227,600	別途積立金	50,000,000
ソフトウェア	227,600	繰越利益剰余金	183,640,837
投資等	85,037,709		
投資有価証券	16,400,000		
保険積立金	68,571,089		
自動車リサイクル料預託金	36,620		
出資金	10,000		
預け金	20,000		
繰延資産	843,334	純資産合計	283,640,837
施設調査費	843,334	負債及び純資産合計	491,110,157
資産合計	491,110,157		

損 益 計 算 書

平成31年4月 1日より
令和 2年3月31日まで

株式会社世田谷川場ふるさと公社

(単位:円)

科 目	金	額
【売上高】		
売 上 高	754,811,219	
売 上 高 合 計		754,811,219
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	9,014,480	
当 期 商 品 仕 入 高	177,422,807	
合 計	186,437,287	
期 末 商 品 棚 卸 高	9,413,093	
売 上 原 価		177,024,194
売 上 総 利 益		577,787,025
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計	558,071,138	558,071,138
営 業 利 益		19,715,887
【営業外収益】		
受 取 利 息	9,563	
雑 収 入	403,286	
雇 用 関 係 助 成 金	400,000	
営 業 外 収 益 合 計		812,849
【営業外費用】		
支 払 利 息	75,062	
営 業 外 費 用 合 計		75,062
経 常 利 益		20,453,674
【特別利益】		
補 助 金 収 入	51,909,000	
特 別 利 益 合 計		51,909,000
【特別損失】		
固 定 資 産 圧 縮 損	51,909,000	
特 別 損 失 合 計		51,909,000
税 引 前 当 期 純 利 益		20,453,674
法 人 税 住 民 税 及 び 事 業 税		7,450,157
当 期 純 利 益		13,003,517

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日 (単位:円)

	株主資本										純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計			
						別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	40,000,000				10,000,000	50,000,000	170,637,320	230,637,320		270,637,320	270,637,320
当期変動額											
新株の発行											
剰余金の配当											
利益準備金の積立											
別途積立金の積立											
当期純利益							13,003,517	13,003,517		13,003,517	13,003,517
当期変動額合計							13,003,517	13,003,517		13,003,517	13,003,517
当期末残高	40,000,000				10,000,000	50,000,000	183,640,837	243,640,837		283,640,837	283,640,837